

新婦人しんぶん

新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもります。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせてます。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放を勝ちとります。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてます。

今週の紙面

- 2面 ニュース ■3面 読者のページ/まんが/短歌
- 4・5面 労働時間法制 “改悪”させないために/ジェンダー講座/ホットライン ■6面 つくってかわいいテトラポーチ/母の歴史 ■7面 新婦人の活動/主張/学校図書館



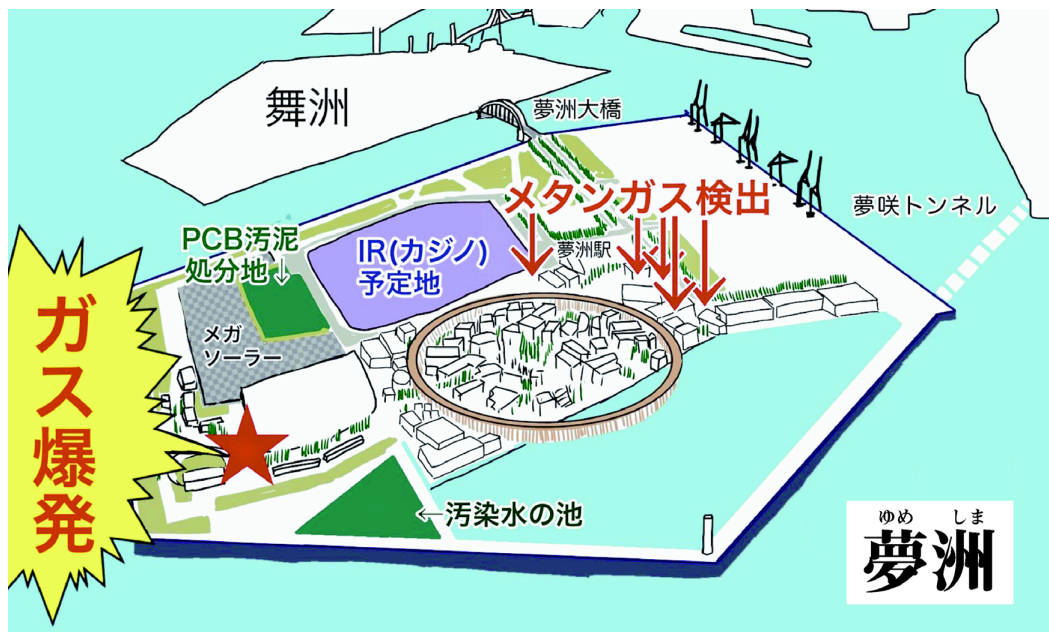
輪島市(仮設住宅) 清水波子

新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです



大阪市教委との懇談に22支部40人が参加。市役所前の宣伝でアピールした (新婦人大阪府本部)

万博中止へ!



万博予想図と爆発のあった場所。夢洲の出入口は夢洲大橋と夢咲トンネルのみ。爆発事故があった場所のメタンガスは基準値(※)超の濃度を計測。 ※労働安全衛生規則による、坑内労働者の退避、火気使用停止等の基準濃度

万博会場で爆発事故

2025年4月に開幕予定といわれる大阪万博。ふくれあがる会場建設費に加えて、メタンガスによる爆発事故が起きたことが問題に。文科省から全国の学校へ修学旅行先に万博を紹介する通達まで出され、不安や疑問の声があがっています。

3月28日、大阪・関西万博の工事現場で、溶接の火花が土壌から発生したメタンガスに引火して爆発する事故が起きました。事故現場はトイレ予定地で、付近には受付ゲートや飲食ブースなどが予定されており、来場した人が多く立ち入る場所です。けが人はいなかったものの、コンクリート床約100平方メートルが損傷しました。

遠足や修学旅行で子どもを動員

3月に爆発事故が発生したにもかかわらず、文科省は4月8日、修学旅行先として「大阪・関西」

「万博」を大々的に紹介する通達を、影響力のある局長名で出しました。その直前には、内閣官房万博推進本部と経産省が出した、修学旅行や遠足などの校外学習への「万博活用依頼」があります。政府がかかっている120万人の子どもたちを大阪・関西万博に連れて行ってもらうという数値目標の表明に合わせた、子どもたちの「万博動員」です。千葉県や福島県でも、この危険性は知らされず来年の修学旅行は「万博」と決めている学校があります。

何か起きたら学校の責任?!

文科省は通達をそのまま道府県教育委員会へ流し、万博推進のキャンペーンのような通達が学校現場まで押し寄せています。

新婦人大阪府本部は、大阪府内すべての教育委員会に要請・懇談をすすめ、夢洲は遠足にふさわしい場所かを問うてきました。

吹田支部で吹田市教育委員会の懇談に参加した宮本安美さんは「子どもが楽しみにしている遠足。いつ誰が被害に遭うかわからない場所へ行かせたくない」と訴えました。吹田市教委は「安全でない場所には連れて行かない」と返答したものの、その後の委員会でも、万博の危険性については一切触れられません。

大阪府教育委員会との懇談でも「教育の一環です。遠足は、学校が決める」と回答でした。しかし、実際は教育行政が学校に圧力をかけ、万博への遠足を選ばざるを得ない状況をつくりだしています。そのうえ、もし遠足で何か起こった場合は「責任は学校に」と言わんばかりの対応。教育現場に責任を押し付ける姿勢です。



吹田市教育委員会と懇談する吹田支部。万博への遠足について「子どもの声を聞いて」と訴えた

〈2面へ〉

